答え 11月21日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



歌舞伎座開業記念日にちなんで「歌舞伎クイズ」

【第1問】歌舞伎の世界を、あるくだものの名を使って何という？

① 梨園（りえん）　② 桃園（とうえん）　③ 林檎園

中国・唐の玄宗（げんそう）皇帝が、梨の木を植えた庭で音楽や踊りを教えたという話から生まれた言葉です。「梨園の妻」という言い方も聞きますね。

【第2問】「成田屋」「音羽屋」など、役者の家の呼び名を何という？

① 看板　② 屋号（やごう）　③ 番号

江戸時代、商人が屋号を持っていたのにならって、役者も屋号を名のるようになりました。市川團十郎の家は「成田屋」です。

【第3問】いなり寿司とのり巻きの詰め合わせは、歌舞伎にちなんで何という？

① 助六　② 忠臣蔵　③ 勧進帳

演目『助六』の恋人の名前が「揚巻（あげまき）」。油揚げの「揚げ」と、のり巻きの「巻き」にかけたしゃれです。

【第4問】得意な芸のことをいう「十八番」。何と読む？

① おやつ　② おはこ　③ おひつ

市川家の得意な18の演目「歌舞伎十八番」の台本を、箱に入れて大切にしたから、という説があります。「カラオケの十八番」など、今もよく使いますね。

【第5問】顔に赤や青の線を描く、歌舞伎の化粧を何という？

① いぬどり　② ねこどり　③ くまどり

「隈取（くまどり）」といいます。遠くの席からも表情が分かるよう、顔の筋を強く描きます。赤は正義や強さ、青は悪役などを表します。

【第6問】歌舞伎は、およそ何年の歴史がある？

① 約100年　② 約200年　③ 約400年

江戸時代のはじめ（1603年ごろ）、出雲の阿国（おくに）という女性が京都で踊った「かぶき踊り」が始まりとされます。400年以上続く伝統芸能です。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生
© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます